

「東京都HIV検査・相談月間」について

資料3

都内HIV陽性者のうち1割弱が自分の感染を知らない（2022年末時点推計 ※1）

※1 厚生労働科学研究成果データベース「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究」より

⇒ **6月1日から30日まで**を「**東京都HIV検査・相談月間**」と定め、検査の拡充や普及啓発を実施

HIV・梅毒の匿名・無料検査の拡充

- HIVの併発リスクが高い**梅毒と同時に検査実施**（常時）
- 東京都新宿東口検査・相談室
検査枠を**約3割拡大**、**クラミジア・淋菌検査**も同時実施
歌舞伎町の若者向け相談窓口で検査を周知
- 都内**18か所**で土日夜間など臨時の検査会場を開設



普及啓発の取組

- **Tokyo Pride 2026**※2 で「**U=U** ※3等の最新の正しい知識」、**「匿名・無料検査」**、**「HIV郵送検査**（秋頃から受付開始） **新規** を呼びかけ
- **APACC2026**※4と連携し、都庁前中央通りを**シティドレッシング** **新規**
- **若者へのアウトリーチ型の啓発を多摩地域に拡大・オンライン相談も実施** **拡充**



＜シティドレッシング
イメージ＞

※2 特定非営利活動法人東京レインボープライドが主催するアジア最大級のLGBTQ+イベント（6月6日～7日@代々木公園）

※3 HIVの治療を受けて血液中のウイルスが継続的に検出されなくなれば、他の人へ性感染させることはないということ

※4 アジア太平洋地域におけるHIV等に関する最新の研究成果等を共有する国際学会（6月18日～20日@新宿）